

The Rotary Club Of Shizuoka East

Weekly Bulletin 2022-2023



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ



IMAGINE
ROTARY

静岡東ロータリークラブ

会長/山下勝央 幹事/杉山輝光

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
山下勝央

第3039回例会 令和4年11月17日

《司会》 幹事杉山輝光会員

《合唱》 我等の生業

《ソングリーダー》 宮城展代会員

《ゲスト》 国際ロータリー 第2620地区

ロータリー財団資金推進小委員会委員長

望月啓行君

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》 傘寿のお祝い 杉田至弘会員

結婚記念日 11月22日 松山剛之

《会長挨拶要旨》 山下勝央 会長

本日は第3039回例会となります。宜しくお祝い致します。

先日の11月5日、6日、グランシップとホテルアソシア静岡の2会場を使って、国際ロータリー第2620地区 2022~2023年度の地区大会が開催されました。我が東クラブからは総勢13名で出席してきました。今回の地区大会プログラムを通して、多くの事を学ぶことが出来ました。米山奨学生の紹介、財団、米山、青少年交換学友の紹介、RAC（ロータアクトクラブ）の活動紹介、インターアクト活動紹介、映像を交えての活動報告、特に留学生の真挚なスピーチには胸を打たれ、改めて活動の意義を感じました。その他にも現在行われているロータリーの奉仕活動の報告があり、様々な事業を通じて地域に貢献し、地域のリーダーを育てている事も理解できました。

夕刻からの大懇親会では、国際色あふれる民族衣装を身にまとった米山奨学生の皆さんが、会場内の各テーブルを廻られるとの事で、お話しが出来るのを楽しみにしておりましたが、外国人の学生さん達は、前の方のテーブルから動く気配はなく、残念ながら閉会となってしまいました。

来年は浜松ハーモニーロータリークラブの中村皇積さんがガバナーになりますので、地区大会は浜松開催となります。

入会してまだ浅い会員の皆様は、地区大会に出席すると学びが

一杯あります。

来年は浜松で近いですので、出席することをお薦めします。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム

《ロータリーの友》 一言 福島清志会員



テーマ:異国生まれの日本育ち

本日11/17はボジョレヌーボの解禁日、日本でのお祭りの様な流れで始まった。日本オリジナルは他にもあり、ラーメン、とんかつ、ナポリタン、ドリア、かつカレーなど海外発祥から日本でオリジナルの成長を遂げて、日本ならではの料理として世界で認知される物が多くある。

伝統を守りつつ、伝統に捉われない柔軟な発想が日本人にはある。現在の日本における円安という流れの中で、どうすれば世界で戦えるかと考えると、観光立国という選択肢も十分にあるのでは、世界の中でも美味しくて安い食事、安全な水がタダで飲める、トイレは機能的で綺麗、先進国を見渡しても中々ないのではないかと我々は日本ならではの思考を持っており、常によりよい物を作ろうと創意工夫する精神を持っている。

このような考え方を柔軟に持つ事が、今後の日本をより良くしていく原動力になるのではないかと思います。

《来賓卓話》

国際ロータリー 第2620地区

ロータリー財団資金推進小委員会委員長

静岡ロータリークラブ会長 望月啓行君

「ロータリー財団について」



ロータリーの使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

静岡第3グループ各クラブの事業紹介

静岡東ロータリークラブ

障害のある学童たちの豊かな心を育む為、生徒とロータリアンが植栽活動を通じた交流活動を行いました。30名以上の子供が笑顔になりました。

グローバル補助金について

焼津ロータリーがスリランカでグローバル補助金を使って井戸を掘り、水道のない村に井戸、給水タンク、各家に給水管を設置。またm水量計を付けて、使った人がお金を払う仕組みを作り、持続可能な形にした。これをやることでグローバル補助金が上手に活用できた。費用はクラブが少し払い、あとは地区が払ってくれる。やる気さえあれば国際的な活動ができる。これがグローバル補助金活用のメリットである。



浜北ロータリーはグローバル補助金を使ってネパール大地震の際に現地で義援金だけでなく、学校を建てて、水道を作った。そして子供たちに教育の機会を与えた。地区で10個くらいの事業を実施している。

ロータリー財団

支出の1位はポリオプラス。2番がプログラム補助金。3位がグローバル補助金である。



ロータリー財団は世界を変える手段です！



スマイル

望月啓行様、ご多忙中にもかかわらず、卓話を頂きありがとうございました。会員のロータリー財団の理解がより深まったと思います。 佐橋徹会員

(会報作成 藤田 尚徳)